

地域連携だより



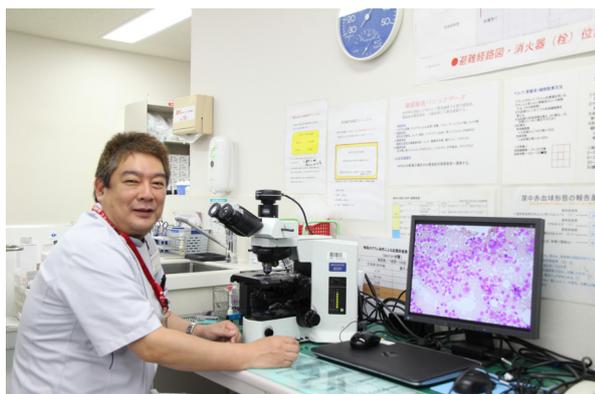
精度が高く、緊急でデータを提供できる検査室に

第 2 診療支援部 部長 / 中央検査科 科長 なるせ さとし 成瀬 智

中央検査科は臨床検査技師 15 名、事務員 1 名で構成されています。認定超音波検査士は腹部領域が 8 名、循環器領域が 2 名です。緊急臨床検査士は 8 名います。これらの認定資格を取得することで専門的な知識を深め、日頃の検査に活かせるようにしています。

臨床検査技師は医療職では認知度が低いと言われている職種です。新型コロナウイルスの発生により PCR 検査が注目され、それに携わっている職種として臨床検査技師という名前を知った人も多くいると思います。

当院で行っている検査は一般検査、臨床化学検査、免疫学的検査、血液学的検査、生理学的検査があります。



顕微鏡検査を実施中

生理検査は心電図や肺活量、脈波検査、脳波検査、神経伝導検査、睡眠時無呼吸検査があります。輸血検査や超音波検査など含め、すべての検査の緊急対応を臨床検査技師全員ができるように工夫しています。

超音波検査は依頼が多くあります。予約で稼働している検査機器が 2 台、緊急対応用に 1 台あり、腹痛や心窩部痛などがあつた場合にすぐに対応できるようにしています。

生化学検査は血液到着から 30 分以内に臨床へ報告できるようにしています。検体はすべて緊急扱いで検査することで、パニックデータの発見が遅れないようにしています。

朝 9 時の診察予約に間に合うように 8 時から採血を開始しており、夜間は 20 時まで稼働しています。

地域の皆さんが安心して検査を受けられる検査室を目指し、精度の高い検査結果を提供できるように職務を果たしていきます。

眼科（アイセンター）特集

副センター長 うへた よしき 植田 芳樹

年に1回、眼科（アイセンター）の記事を書くことになりました。第1回は、「アイセンター」の紹介です。

●「アイセンター」とは

外来から手術、入院までをトータルでサポートする、目の専門施設です。眼科専門の外来、病棟、手術室を有し、眼科に特化したケアを行えること、連携がとりやすいことなどが特徴です。平成21年（2009年）に開設され、早くも10年以上経ちました。

●診療体制

外来は現在8診、手術室は2室、眼科専門のあやめ病棟は18床あります。現在、常勤医5名、非常勤医20名ほど、看護師、視能訓練士、その他合わせて約100名のスタッフがいます。射水市だけでなく、県内各地や岐阜、新潟、石川など県外からも、患者さんが来院されます。外来は毎日100～200名程の来院数、昨年手術件数は、4166件でした。平成22年（2010年）は2123件でしたので、10年でおおよそ倍になりました。これも、いつもご紹介いただく先生方、外来診療を手伝ってくださる非常勤の先生方、そして緊急手術なども厭わず対応してくれるスタッフのおかげであり、心から感謝いたします。

●他施設からの医師受け入れ

また教育として、東京大学、金沢医科大学、中国から後期研修医を受け入れています。みな一生懸命に働いてくれ、頼もしい限りです。

●大切にしている精神

「当院で治療を受けたいという方は絶対に断らない」という思いのもと、スタッフが一致団結し、どんな緊急患者にも対応しています。待ち時間が長くなることもあり、患者さんにご迷惑をおかけすることもあります。射水市はもちろん、富山県内や近隣地域の眼科医療をスタッフ全員で支えたい、と思っています。悪性腫瘍など真生会では治療できない疾患もありますが、他の病院とも連携を取りながら、責任を持って対応いたします。気軽にご紹介、ご相談いただければ幸いです。



眼科（アイセンター）の医師

前列左から、たちな おこ 館奈保子 センター長、たむらな おき 谷村直紀 医師、うへた よしき 植田芳樹 副センター長
後列左から、はしもと よしひろ 橋本義弘 副院長、すずき たかふみ 鈴木貴文 医師、オウリン 王琳 医師（中国から研修中）

お腹の弱い人には低 FODMAP 食がお勧め

下痢型過敏性腸症候群の治療に難渋されることはないでしょうか。薬物療法と共に、消化管に負担をかけないように、食べ過ぎを避ける、脂肪、アルコール、カフェインを避けるなどの指導をしても、なかなか効果が実感できません。

そんな人には低FODMAP(フォドマップ)食がお勧めです。約10年前、オーストラリアの研究者が考案しました。欧米では瞬く間に広がり、すでに標準治療となり教科書にも記載されています。ただ日本での普及は遅れ、最近ようやく知られるようになりました。外来で指導可能です。

発酵性 (Fermentable : **F**) の、オリゴ糖 (Oligosaccharides : **O**)、二糖類 (Disaccharides : **D**)、単糖類 (Monosaccharides : **M**)、および (And) 糖アルコール (Polyols : **P**) = (**FODMAP**) の多い食品を制限します。

これらの短鎖炭水化物は吸収されにくく、腸管内の浸透圧を高め、発酵し、ガスを産生して、腹部膨満、腹痛、下痢を引き起こします。一般の人でもキシリトールガム(糖アルコール)を多くとるとお腹が緩くなることがあります。まず3週間、高FODMAPの食品を排除し、効果があれば好きな食品を一つずつ再開し、特定の原因食品を探します。

腸によかれと思って毎日食べていたヨーグルト、納豆、ゴボウが原因だったということは、よくあります。劇的に効果が出る人がありますので、ぜひお試しください。



消化器センター長
しんの えいじ
真野 鋭志

お腹の弱い人に
おすすめ!

高 FODMAP 食

穀物	大麦、小麦、ライ麦、パン、ラーメン とうもろこし
野菜	玉ねぎ、にんにく、アスパラガス
肉、魚	ソーセージ
乳製品	牛乳、ヨーグルト、プロセスチーズ
ナッツ	アーモンド (20粒以上)、カシューナッツ ピスタチオ
果物	りんご、桃、梨、スイカ、グレープフルーツ アボカド
飲み物	ウーロン茶、ハーブティ
調味料	はちみつ、ケチャップ キシリトールなどの人工甘味料
その他	納豆、絹ごし豆腐

低 FODMAP 食

米、玄米、そば (十割)、オート麦
ナス、トマト、ニンジン、ピーマン ブロッコリー
牛肉 (赤身)、鶏肉、ハム、ベーコン 魚介類
バター、マーガリン、カマンベールチーズ
アーモンド (10粒以下)、ヘーゼルナッツ
バナナ、キウイ、レモン
紅茶、コーヒー、緑茶
味噌、マヨネーズ、メープルシロップ
卵

※表は一例です。

4月から赴任した医師の紹介



【眼科】

すずき たかふみ
鈴木 貴文 医師

昨年度まで東京大学医学部附属病院眼科で勤務しておりました。富山県の風土や真生会富山病院の雰囲気^ひに魅かれ異動してきました。臨床・手術・研究に励み、世界中の患者さんの眼を救いたい熱い気持ち^{あふ}に溢れていますので今後ともよろしくお願いたします。



【麻酔科】

はらだ みき
原田 樹 医師

救急や麻酔を専門としておりますが、線維筋痛症^{とうつう}という慢性疼痛疾患の闘病経験から、徒手療法や認知行動療法、漢方^{しんきゅう}や鍼灸など多面的な治療戦略をもつ統合医療に関心があります。患者さんだけでなく医療従事者の健康を大切に考えており、西洋医学に偏らない医療を提供できるよう準備したいと考えています。

診療体制の変更（令和2年6月1日現在）

●診療受付時間の変更（夕方）

【夕方外来】16:00～18:45まで（※2科以上の受付は18:15まで）
※夕方外来は、月・水・金曜日のみです。

●休診日の変更

【形成外科】…… 月曜夕方 外来休診（形成外科の夕方外来は水曜、金曜のみです）

【小児科】…… 火曜昼、木曜昼 外来休診

●昼の救急体制

11:30～16:00の内科診療は緊急に治療が必要な方のみ受付いたします。それ以外で受診を希望される方は月・水・金は、夕方外来開始までお待ちください。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

※診療している時間帯、曜日をお知りになりたい方は、当院ホームページをご覧ください。